

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>【49 生涯学習】2週目</p>
牛島委員	<p>本日、安井委員が所用のため欠席とのこと。生涯学習について、説明を受け協議していきたいと思います。</p>
荒井主幹	<p>※別紙生涯学習に係る資料を基に説明 (社会教育G) ①情報化時代に対応した人材の育成を追加。 ②生涯学習の原点から考え方を記載。町民会館の改築を付記。 ⑤「連携・協力が必要」「専門職の適性配置」の意見をもらい記載。 「社会教育委員」「町民会館の改築」「情報化に対応」を追加。</p>
浅野館長	<p>(図書館G) ②図書館建設の意見をもらい記載。</p>
伊藤委員	<p>町民会館の改築だが、外での喫煙姿の見栄えが悪い。喫煙室を設けるべきだ。</p>
高木部長	<p>公共施設全体の事だが、禁煙の動きになっているのが一般的な傾向。排除しようという考えではない。今の意見を受け取って整理していく。</p>
小田島委員	<p>コミュニティースクールの継続支援はどのように行うのか。</p>
荒井主幹	<p>町から補助金を出している財政的支援と開催時にお手伝いをしている。参加人数が少なくなっていて学校ごとにPTAのOBに協力をお願いしている。とても良い事業なので続けていけるよう働きかけていく。</p>
牛島委員	<p>予算は確保出来ているが人材の高齢化で減ってきている。旭小のように親が積極的に関わってくると盛り上がる。</p>
荒井主幹	<p>旭小はとても良い流れ。参加者も良い働きをしてくれる。年に1回協議会で紹介していく。</p>
牧野委員	<p>誰が責任を持って運営していくのか。美幌小は同じ事をずっとしている会になってしまっている。地域の中を巻き込んでやっていかなければならない。</p>
荒井主幹	<p>協議会では新しい事を取り入れようと情報交換をしている。</p>
牛島委員	<p>図書館の件に移ります。</p>
牧野委員	<p>図書館は民間の力を借りての事も検討してほしい。自前で建て直すには蔵書が多すぎる。</p>
高木部長	<p>体育施設含め、公共施設全体を見ていく形になると思う。</p>
牛島委員	<p>前向きな建築を望む。</p>
牧野委員	<p>データ化された図書への対応は。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
浅野館長	対応出来ていない。ICチップで図書管理できるがまだ導入していない。
牧野委員	DVDのデジタル図書はどうか。
浅野館長	朗読CDがあるが利用者がいない。スマートフォンやパソコンでデジタル図書として無料で読めてしまう所もあり、なかなか普及しない。本は本で読みたい方が多い。
牛島委員	歴史資料や新聞などはデジタル化が必要。
牧野委員	ICチップを導入すると本の紛失が無くなる。もう買う事の出来ない本や貴重な本を守るための意味としても必要。
沖崎委員	図書館の改築の件で共施設全体の形を見るとの話だったが、複合施設にする事は視野に入っているのか。
高木部長	土地の問題はあるが視野に入っている。 図書館は蔵書の数や駐車場の問題があり、やはり限界が来ている。
浅野館長	夏休みやテスト前の子供達にも場所を提供してあげたい。 標準的な公立図書館の設置と望ましい基準が人口2万人の場合、床面積が1680㎡に対して1358㎡、蔵書数が11万1千に対して14万ある。
牧野委員	全てが必要な本なのかを司書の方が確認する。ネットワークで借りられるのなら管内の市町村と協力しながら分野ごとに分けるなどが必要かもしれない。
牛島委員	図書館の充実、建て替えは是非お願いしたい。 博物館に移ります。
小田島委員	プチ工房や工作体験は同じ様な事をみどりの村でも行っているが連携は取れないのか。
小林館長	プチ工房は博物館に来てもらうためのもの。みどりの村も同じ理由で始めたであろう。月に2回開催。口コミで利用者が増えているので継続的に行っていきたい。専門の職員が対応し、その辺の木を切る所から本格的な体験が出来る。
高木部長	博物館とみどりの村は同じ所にあるので一体的な利用をする事も当然あると思う。みどりの村は「体験」という事で行っていると思う。博物館は「教育普及」が大きな目的。この違いがある。
木村委員	美幌の悪い所は何でも「点」にしかになっていない。みどりの村を活かしてないのは問題だと思う。連携が取ればお互いに利用者が増えると思う。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高木部長	みどりの村のグリーンヴィレッジは通常2千円とかもらうが、子供達の宿泊体験の時にはシーツの洗濯代として3～400円で利用してもらっている。
木村委員	利用者からはひどいと苦情が出ている。
高木部長	元は研修施設なので襖一枚で部屋が繋がっている状態。今の時代には合っていないかもしれない。
小林館長	本来は、パン作りだけではなく農業体験やソーセージを作るなどの研修が出来るはず。 美幌町として醤油造りやプロを入れてソーセージなどを作るべき施設だった。
伊藤委員	プロ的な使い方は出来ない意味合いが強かった。物産協会でやっと使えるようになったが趣味的な使い方しかさせないという考え方だった。
小林館長	どんどん変わってしまっただけ今は畜産では使っていない。農業の方もパンぐらい。パンが焼き上がるまで博物館に来てくれていたが今はいない。博物館だけでも頑張るしかないとの思いがあった。
高木部長	目的は違うが毎月打ち合わせをしながらやる事は一緒にしてやろうということをやっている。
木村委員	博物館がどうのというレベルではなく町としての事。
高木部長	キャンプ場のバンガローが古いとの声が多い。
小林館長	町として維持する努力をすべき。砦からの景色はとても綺麗なのに危ないからと上れなくなっている。
木村委員	一町民はみどりの村と博物館が近いので関係があると思っている。みどりの村のせいで博物館は損をしている部分がある。もっと連携を取って町としての力で活かしていくべきだ。
高木部長	みどりの村の在り方を検討しようという事で委員会を立ち上げている。
牧野委員	博物館で美術品を常時展示しているが、同じ建物に美術品もある事をわかるような名称にしないと分かりづらい。
小林館長	盛岡では総合博物館となっていて美術コーナーがしっかり作ってあって受付も別になっている。美幌は建物がそのように作られていない。今は、美術のパンフレットを作って効果が出ている。長い目で宣伝していくしかない。美術品をたくさん保有しているが、それを美幌町が維持していけるか。学芸員達の間では美術をもつての総合博物館として位置付けようと話をしている。
伊藤委員	もう少しアピール出来るネーミングは必要。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
牧野委員	飾るなら経費がかかり入場料は取るべきだが現状の展示の仕方ではお金が取れない。
小林館長	美術の展示は博物館の展示という事になっているので同じ料金で全部見られる。美術だけ見ていく方もいる。
牧野委員	常設展示は替えづらい。絵や他の所を替えたりなどきちんとしていただきたい。
小林館長	絵はパンフレットを作ってしまうと替えられない。特別展の部屋で何年かに1回は美術の展示会を行い、絵を飾ろうと考えている。
伊藤委員	ネーミングの問題と、維持管理のお金の問題。ネーミングはサブタイトルを付けるなどしてみてはどうか。
牧野委員	学芸員さんが居る居ないは関係なく継続的に行って行って欲しい。
小林館長	美幌の規模では3年に1回は美術の特別展を行い、常設展を必ずやっいてこうと考えている。
牛島委員	名称も含め、宣伝の方法も検討していただく。
牧野委員	パソコン講座を民間が行っているが、隔年で行っているからなのか、要望があって民間独自で行っているのか。
荒井主幹	隔年なのは美幌高校に全面的に協力してもらっているので先生方の負担を減らすために隔年にしている。
高木部長	毎回好評で定員を増やして対応している。また参加したいと言っている。高齢者が多い。
牧野委員	広く多くの方に活用してもらいたい。
荒井主幹	初心者優先で行っている。
【50 芸術・文化・文化財】2週目	
牛島部長	芸術・文化、文化財について、協議していきたいと思います。
荒井主幹、小林館長	※別紙芸術・文化、文化財に係る資料を基に説明
牧野委員	文化財は全部博物館にあるのか。元町の埋蔵文化財など保全出来るのか。
小林館長	土地所有者の件で保全は出来ない。指定文化財が中心になっている。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
浅野主査	<p>前回の会議の中で、文化財の指定の関係だとか、柏の木とか、瑞治の足柄奴の話とか細かい話が出て来ていたが、内容の取り組みの中で継続して進めるだけでなく、もう少し具体的な記載をしていかないと見えてこない。今後10年の中でどうやって文化財を保護していこうとか、郷土資料の収集も、また、保管場所の話も出ていたと思うので、今後どうしていこうかと記載していく必要があるのではないかと。</p>
小林館長	<p>持ち帰り検討したい。</p>
小田島委員	<p>旭小に是非金管を作って欲しい。</p>
牧野委員	<p>びほ一は新しいので、より新しい設備が欲しい時に導入できるのか。</p>
高木部長	<p>今、あるものを使いながら時期が来たら更新していく。</p>
牧野委員	<p>運営委員会を作って、利用者の声を定期的に聞いていけると良い。</p>
木村委員	<p>例えば意見箱などを置いておくのとよいのでは。</p>
荒井主幹	<p>たしか町民会館には置いてあったと思う。</p>
牧野委員	<p>障害を持っている方も利用出来るような施設が求められてくるのでは。</p>
浅野主査	<p>博物館の歴史の継承は聞き取りを進めるとあるがその後はどのように進めるのか。</p>
小林館長	<p>忘れてしまっている生活様式や民具の使い方などを聞かざるを得なくなっている。馬具が入ってきてもどの部分か分からなくなっている。資料が入ってきた時に提供者に話を聞き記載し残していく。資料と一緒に保管する。大変な作業だが博物館としては通常の活動。それもあり詳しい記載は避けた。</p>
浅野主査	<p>聞き取りを進めて収集した情報を町民に伝えていけるかという事はここには入ってこないという事か。</p>
伊藤委員	<p>興味ある人が見に行くしかないのか。</p>
小林館長	<p>何かあった時のために、収集している。10年、20年継続して初めて資料が出て来る。</p>
浅野主査	<p>郷土資料の収集とも関わってくるかと思うが、計画の中に伝わっていけば良い。結果として載せる以上は後で評価として出てくることになる。</p>
小林館長	<p>もう少し考えてみたい。</p>